

演劇ワークショップ

四国学院大学では、感受性や表現力を磨き、社会に通じるコミュニケーション能力を伸ばすために、演劇の手法を用いたワークショップ形式の講義を実施しています。

本学学生はこの講義を通して、プロの俳優を目指すだけでなく、**教員や保育士、社会福祉士を目指す学生にとっても必要なコミュニケーション力を高めています。**

また、一般企業の就職を考えている学生も、面接や社会に出てから役立つ表現力を磨いています。高校生の皆様にもこのような講義を体験して頂き、感受性や表現力を身につける一助になればと考えております。

具体的な内容や費用につきましてはご相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください。

講義名	講師名	講義内容
演劇から学ぶコミュニケーション	准教授/西村 和宏	小グループに分かれ、短いシーンをグループ創作します。その話し合いでお互いの意見が違うことや自分のイメージを伝えることの難しさを体感します。「言いたいことが上手く伝わらない」そこから人は他者とコミュニケーションをとる努力をするのだと思います。演劇を通して、対話とは何かを考え、学べる体感型の講義です。
即興演劇を活用した表現する力を育てるワークショップ	准教授/仙石 桂子	即興演劇とは、脚本も、設定も、役も何も決まっていな中で、その場に出てきたアイデアを受け容れ合い、ふくらましながら、物語をつくり、場面を演じながらシーンをつくっていく演劇です。即興演劇の基本方針は、「自由と協調」。即興演劇を体験することで、自由な創造力と、相手と協調することを学びます。
実習におけるコミュニケーション技術を活用したワークショップ	准教授/仙石 桂子	福祉科での実習に行く前に身につけておきたいこと、行った後の課題について、コミュニケーション技術を基にロールプレイングを活用したワークショップを行います。演劇の専門家として、利用者、実習生、職員の立場に寄り添い、アドバイスをします。
動きの中で学ぶこと	教授/阪本 麻郁	高度に進展したITによってヴァーチャルな世界が拡大した現代に生きる若者たちに、コンテンポラリー・ダンスという生身の身体を使った芸術を通して、身体感覚やコミュニケーション能力を回復させる講義です。芸術を活用した講義を行うことで、自信が養われ、批評的な思考力や規律を重んじる姿勢が生まれます。